



長野県ダンススポーツ連盟

広報誌



<http://nagano.jdsf.or.jp/>



発行/

長野県ダンス
スポーツ連盟

編集構成/ 事務局

第 27 号

誕生！全日本ダンススポーツ選手権ユースチャンピオン

11月21日（土）22日（日）川崎市とどろきアリーナにて「第40回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権」が開催されました。本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため無観客試合となりましたが、長野県代表の太田佳輝＆岡田愛彩組が全日本ダンススポーツ選手権ユースのラテン部門で優勝し、2020全日本ユースチャンピオンとなりました。決勝では五種目全てトップ得点という、見事な完全優勝でした。おめでとうございます！県内のジュニア選手も両日ともに健闘致しました。



太田佳輝さんのコメント

今年はコロナ禍で、高校生最後の年＝ユース最後の年なのに大会も練習も出来なくなり、何処にモチベーションを持って行ったら良いのかもわからないまま、11月の初めまでは陸上の部活も続けながらのオンライン練習などでした。パートナーとの練習が出来たのは部活引退後の週末4日間。最後のユース戦で上位入賞！の目標を掲げ、朝から晩まで踊り通しました。無観客試合で声援の聞こえない会場での戦い。スタンダードは練習不足もあり、結果は無残なものでしたが、その分ラテンでは絶対に勝つ！と気合も入りました。決勝に上がれなかつたユース仲間からの後押しもあり、今自分の持っているものを全部出し切り踊る・・との思いでフロアに立ちました。結果発表で準優勝の番号がコールされ、自分たちの優勝がわかった瞬間は今までに感じたことのない嬉しさがあり、心の中でガッツポーズ！しました。

2020ユースチャンピオンになれたのは、支えてくださった方々のおかげです。

これからも上を目指し頑張りますので今までと変わらず応援していただけると嬉しいです。

長野県ダンススポーツ連盟会長 あいさつ



百瀬芳正会長

2020年は新型コロナウイルスの影響を受け、県連盟の事業はほとんど開催できませんでしたが、いくつかの成果を紹介します。一つは理事部長会のZOOM会議導入により、ほぼ全員出席で4回の会議を行うことができました。出席率のUPと移動に伴う交通費削減や各自の時間の節約の効果が得られました。次に北信支部では競技選手の練習会&講習会、中信支部でも同様な練習会開催をし、選手のモチベーション維持や事業開催時の感染症予防対策方法を確認することができました。また、三笠宮杯で太田佳輝君が全日本ユース選手権のラテンで優勝、倉科翔君が学連の東部日本学生競技会や全日本学生競技ダンス選手権のスタンダードで優勝、と素晴らしい結果も報告されました。ブレイキンも2024年のパリ五輪の正式種目になるなど、今後のダンススポーツ連盟の活動がより活発になります。皆様のご健勝をお祈りし、更なるご協力ををお願いいたします。

北信の講習会と練習試合

9月21日（月・祝日）須坂市北部体育館にて第2回講習会・練習試合が開催されました。コロナ禍で練習もままならない中、47組の選手が厳重なコロナ対策を行いながら久しぶりのミニコンペを楽しみました。



中信支部の練習会と講習会

10月25日（日）塩尻市広丘小学校体育館にて、車いすダンススポーツ大会&ダンススポーツ普及競技会の代替イベントとしての練習会と講習会が行われました。ジュニア7組・シニア11組が参加し、岡田明義指導員と倉科和広指導員による講習会も好評でした。



支部のコーナー《東信支部》

100年に一度あるかないかと言われているコロナ騒ぎで世界中のみんなが恐怖と不自由を強いられています。その最中に信濃フェローズ代表の原田さんがお亡くなりになりました。余命を数ヶ月と宣告されてからあつという間の2年間でした。今年2月までは週1回の練習会に参加されサークルの皆さんにも丁寧に指導してくれました。コロナがなければもっとたくさん教えてもらったのにと残念でなりません。原田さんのダンスに対する情熱は生半可なものではありませんでした。30才前に事業を始め一生懸命働き家が建つほどダンスに散財し、それを惜しみなく我々に教えてくれました。仕事以外はほぼダンスの研究と練習にあてていたそうです。

クイックとスローが得意と言っていましたが僕からすれば全て得意じゃないかと思っていた。ダンスの理論もよく教えてくれましたが半分くらいしか理解できていませんでした。特に音と動きの関係論は難しくなかなか理解できませんでしたが諦めずに教えてくれました。素晴らしいリーダーでした。「ダンスの皆さんと共にあと10年生きたい」と言っていた原田さんの思いに答えるべく踊り続けていきたいと思います。ご冥福をお祈りします。

原田一美さん追悼文

東信支部長 小林経明



県連盟の創立メンバーとして、16年に渡り真知子夫人と共に活動しご尽力いただきました。

サークル紹介《中信支部》

ダンス 2000

サークル長 山岸三郎

このサークルは、西暦2000年、初心者を対象として行われたダンス講習会の受講者で、踊りの楽しさに魅了されてしまった有志で発足しました。サークル発足以来20年の節目を迎える令和2年ですが、新型コロナウイルスの発生により2月から6月までの4か月間、全く活動ができないという異常な状況下で記念の年となってしまいました。

『ダンスの楽しさを共有し、全員参加で充実したダンスライフを送ろう!!』を基本的な考え方として例年は各種のイベントに積極的に参加しています。サークルも20年を経過すると会員の平均年齢が格段と上がり、高齢化に一層拍車がかかる事が最大の悩みとなりましたが、いつまでも健康で、若々しく、全員で楽しみながらレッスンを続けて行こうと思っています。



役員の紹介コーナー

役員の皆様の知られざる一面をご紹介いたします。
お聞きしましたのは ①ダンスを始めたきっかけ ②今、一番樂しんでいる事③今後の目標や、やりたい事など・・・です。今回は、副会長を務める三名です。

田中和之 競技本部長



学生時代は吹奏楽でチューバ、その後は有志ジャズバンドでドラマーを目指していました。練習後の楽しい飲み会での暴飲暴食で胃を壊し、今では全くアルコールを口にしませんが、ともかくドラムの練習を頑張りました…が、なかなか上達せず。自分のセンスのなさにやっと気付いた頃、妻はといえば毎日のようにダンス教室に通ったり、仲間との練習に励んだり。そんな楽しそうな妻に「一緒にダンスやりたいかも…」と呟いてしまった…そしてこの世界に足を踏み入れたのです。

(写真は“リミニ（イタリア）大会の採点表”)

倉科和広 普及本部長



30年前、ダンスの踊れる飲み会でうっかり誘ってしまった当時のA級選手（現在の妻）との出会いは、今後の人生を大きく変えることとなりました。長野県チャンピオンになる夢を追いかけ、練習に明け暮れた9年間。夢を叶え全日本10ダンス選手権大会2年連続第4位を最後に引退した現在は、2人の息子の学連での活躍を期待しながら、自分自身のスキルを更にアップさせて行こうと日々精進しています。

宮田輝男 登録管理部長



音楽あってのダンス、自分は高校時代からジャズバンドでトランペッタを吹いていて、チャチャ・ルンバ・タンゴなど、ダンスする前から曲やリズムを知っていました。もっと音楽に親しみたいと思ってた頃、会社にダンス同好会ができるて入会したのが自分で踊るようになったきっかけです。生バンドでのダンスパーティー、踊りやすいように演奏するのは苦労しますが楽しいです。早く出来るようになれば良いな。



信陽食品株式会社

本社・工場 〒381-0035 長野市北条町26 Tel.026-243-2915(代)
<http://www.shinyo-f.co.jp/>

あとがき

今年1月のダンススポーツアワードで学生選手デモンストレーションを披露した倉科組・太田組が、それぞれの目標試合で優勝という快挙を上げ、長野県選手の力を見せてくれました。残念ながら2021年のダンススポーツアワードは行われませんが、免疫力を高める為にもレッスンなどへ積極的に参加し、コロナに負けない身体作りに励みましょう！YouTubeでのレッスンやPトレなど、勉強になるチャンネルが多数できています。一気に進んだオンライン・・・変化を受け入れ、チャレンジ精神で新しい扉を開きたいと思います。

発行所：長野県ダンススポーツ連盟
発行人：百瀬芳正（会長）
住所：〒399-0705
長野県塩尻市広丘堅石810-4
TEL：0263-88-8350
FAX：0263-88-8361
事務局：百瀬みゆき 連絡先同上